

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護方法論区
講師名	近 麻美 藪下 めぐみ 佐藤 久美子	実務経験の有無	有 有 有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
<p>目的： 身体の診察方法と診察の介助、診療の補助技術である検査、吸引、吸入、罨法および救急蘇生の基礎的な知識・技術・態度を学ぶ</p> <p>目標： 1. 検体検査と生体検査の違い、検体の採取方法と管理方法が述べられる 2. 静脈血採血時の注意点、生体モニタリング中の看護が述べられる 3. 診察介助の目的、検査・処置の看護について述べられる 4. 罨法が身体に及ぼす影響を理解し、温罨法・冷罨法を実践できる 5. 酸素療法の目的と方法を理解し、酸素吸入を実践できる 6. 吸入の目的と方法を理解し、吸入を実践できる 7. 吸引の目的と方法を理解し、一時的吸引を実践できる 8. 排痰ケアの目的と方法を理解し、体位ドレナージ方法が述べられる 9. 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れが説明できる 10. 心肺蘇生の基礎知識、止血法の原理について説明できる 11. 一時救命処置を正しく実施できる</p>			
回	時間	講義内容	
1 近	2 講義	診察・検査・処置における技術	診察の介助 検査・処置の介助
2 近	2 講義	症状・生体機能管理技術	症状・生体機能管理技術の基礎知識 生態情報のモニタリング 検体検査
3 近	2 演習	静脈血採血準備	物品の準備・点検 血管の選定 駆血
4 ・ 5 近	4 演習	静脈血採血	物品の準備・点検 患者への配慮 血管の選定 駆血 穿刺 廃棄物処理
6 藪下	2 講義	苦痛の緩和・安楽確保の技術 罨法の基礎	罨法援助の基礎知識 身体ケアを通じてもたらされる安楽

7 藪下	2 演習	苦痛の緩和・安楽確保の技術 罨法の実際	1) 湯たんぽ 2) 氷枕
8 藪下	2 講義	呼吸・循環を整える技術 吸入の基礎知識	酸素吸入療法、吸入 人工呼吸療法
9 藪下	2 講義	呼吸・循環を整える技術 吸引の基礎知識	排痰ケア（体位ドレナージ・吸引） 胸腔ドレナージ
10 藪下	2 演習	呼吸・循環を整える技術 吸入、吸引の実際①	酸素吸入療法、酸素ポンベの取り扱い 吸入（ネブライザー吸入）
11 藪下	2 演習	呼吸・循環を整える技術 吸入、吸引の実際②	吸引（口腔内、気管内） 胸腔ドレナージ（低圧持続吸引器）
12 藪下	2 演習	呼吸・循環を整える技術 吸入、吸引の実際③	体位ドレナージ
13 佐藤	2 講義	救急救命処置技術 心肺蘇生法 止血法	救命救急処置技術の基礎知識 ・急変時における初期対応 ・トリアージ 心肺蘇生法の基礎知識 ・一時救命処置（BLS） ・小児・乳児の心肺蘇生法 ・二時救命処置（ALS） 止血法の基礎知識
14 佐藤	2 演習	心肺蘇生法の援助の実際	一時救命処置の実際 ・気道確保 ・人工呼吸 ・胸骨圧迫 ・AEDにおける除細動
15	2	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義 14 時間・演習 16 時間	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 100 点	
テキスト		医学書院：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術 II メディックメディア：看護がみえる Vol.1 基礎看護技術、 メディックメディア：看護がみえる Vol.2 臨床看護技術	
備考		事前課題あり リフレクションあり	